

承認指令書番号	25動薬第2495号
販売開始	1995年1月
再審査結果	2005年3月

バイトリル™15mg錠

2021年9月改訂

貯法	室温保存
----	------

90204691

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、ドイツ・バイエル社が世界初の動物専用フルオロキノロン系抗菌剤として開発したエンロフロキサシンを有効成分とする製剤である。
エンロフロキサシンの抗菌スペクトラムは広く、グラム陽性菌、グラム陰性菌、そしてマイコプラズマに対し殺菌的に作用する。

【成分及び分量】

品名	バイトリル15mg錠
有効成分	エンロフロキサシン
含量	本品1錠(60mg)中にエンロフロキサシン15.0mgを含有する。

【効能又は効果】

有効菌種:本剤に感受性の下記菌種

ブドウ球菌属、レンサ球菌属、腸球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、
エンテロバクター属、プロテウス属、シュドモナス属、
ステプトロモナス・マルトフィリア、アシネトバクター・カルコアセティクス
適応症:犬及び猫の尿路感染症

【用法及び用量】

1日1回体重1kg当たりエンロフロキサシンとして下記の量を経口投与する。
犬:5～10mg
猫:5mg

【使用上の注意】

(基本的事項)

1.守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

(取扱い及び廃棄に関する注意)

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2.使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(犬及び猫に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

- ① 対象動物の使用制限等
 - ・大量投与により幼若犬で関節障害が認められたため、本剤は12ヵ月齢未満の成長期にある犬には使用しないこと。
- ② 重要な基本的注意
 - ・本剤は第一次選択薬が無効である症例に限り使用すること。
 - ・本剤の投与期間は原則として7日以内とし、14日までの追加投与は慎重に行うこと。7日間の投与で症状の改善が認められない場合、処方を再検討すること。
- ③ 相互作用
 - ・類似化合物で、テオフィリンとの併用により、テオフィリンの血中濃度を上昇させるとの報告があるので、併用する場合にはテオフィリンを減量するなど慎重に投与すること。
 - ・類似化合物で、マグネシウム又はアルミニウム含有の制酸剤との併用により、吸収が低下し、効果が減弱するとの報告があるので、併用は避けることが望ましい。
 - ・類似化合物で、非ステロイド性消炎鎮痛剤との併用により、まれに痙攣が発現するとの報告がある。
- ④ 副作用
 - ・本剤投与により嘔吐、食欲不振、流涎等を認めることがある。
 - ・猫において、本剤の投与により失明等の視覚障害が認められた報告があるので、異常が認められた場合は投与を中止すること。
- ⑤ その他の注意
 - ・本剤は、ナリジクス酸高度耐性株に対して効力を示すが、フルオロキノロン高度耐性株に対しては効力を示さない。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

本剤の有効成分であるエンロフロキサシンは、細菌のDNA合成を阻害する。細菌のII型トポイソメラーゼであるDNAジャイレースとトポイソメラーゼIVに作用し、DNAの複製を阻害することで、細菌を死滅させる。エンロフロキサシンは核膜を持たない細菌のDNAには直接作用するが、核膜を持つ動物細胞のDNAには直接作用できないため、哺乳類、鳥類等に対しては安全である。

【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目15番1号
お問い合わせ先: ☎0120-126-471

【製造販売元(輸入発売元)】

エランコジャパン株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目15番1号